CINEMA EOS SYSTEM

CANON LOG 設定ガイド　～CANON LOG を使って正しく撮影するには～





<CANON LOG 設定の前提条件>

CANON LOG は撮影時に画質設定をせずに、ポストプロダクションでカラーグレーディング処理を行うことを前提に設計されています。

1 ：CANON LOG を使用する際の注意点

■ 感度

EOS C300 の CANON LOG は、ISO850 以上で 800%のワイドダイナミックレンジを得ることができ、ISO800 以下に設定した場合は、設定値に従ってサチュレーションレベルが低下して白飛びしやすくなります。被写体によって 800%のダイナミックレンジが必要かどうか、また露出が適正かどうかは、露出計や波形モニターなどで確認してください。また CANON LOG では 18%グレーの出力は、32.8 IRE となります。これを適正露出の基準として下さい。



■ ホワイトバランス

RGB 各色をできるだけ効率よくデジタルデータ化するためには、撮影時にホワイトバランスを取ることを強くお奨めします。カラーグレーディング時にホワイトバランスを調整することは可能ですが、通常のビデオ撮影同様に、撮影時にできるだけホワイトバランスを設定して下さい。

■ 波形モニター

CANON LOG 撮影時にはガンマ特性上、適正露出がモニターではアンダー気味に表示されます。グレーディングを前提とするLOG 撮影の場合には、広いダイナミックレンジをどう活かせるかが仕上がりを決める1つの重要なポイントとなります。ビューアシスト機能（P3 参照）で全体の露出を確認したあとに、波形モニターでハイライト（明部）の飛びや、シャドー（暗部）の潰れがないことを確認することで、LOG の特性をフルに活かすことができます。



2：基本的な CANON LOG 設定［CP CINEMA 固定］

<[MENU] ボタンから設定する方法>

MENU ボタン



1



[MENU] ボタンを押し、
メニューから
[カメラ設定] を選択。

2



[カメラ設定] の中の
[CP CINEMA 固定] を **[入]** にする。

3



LCD モニターや VF 画面の左下中段に
[CP LOCKED] の文字が表示されます。

< 注意 > [CP CINEMA 固定] で撮影する際は、CUSTOM PICTURE はプリセットで固定されます。これにより CUSTOM PICTURE が［CINEMA］モードに固定され、確実に CNAON LOG で撮影することが可能になります。

3：ビューアシストの使い方

<CANON LOG 撮影時における、専用 LCD モニターと本体 VF での画像確認方法>

■ ビューアシストとは?



▲ 通常表示



▲ ビューアシスト表示

LOG の画像をリニアライズして通常のビデオガンマに近い画像表示 ができます。ビューアシストは、中間調（18%グレー）を適正な明るさで表示するように設計されており、適正露出の確認にも有効です。ビューアシストは LCD と VF の表示機能であり、CF カードへの収録映像や HD-SDI を介した外部出力の映像は、LOG のまま出力されます。

■ ビューアシスト設定方法

1



[MENU] ボタンを押して、LCD ／ VF 設定から **[ビューアシスト]** を選ぶ。

2



[ビューアシスト] を選び、**[入]** を選ぶ。



TOPICS

ビューアシストの入 / 切を EOS C300 のアサインボタン機能をつかって、予め自分の好みのボタンにプリセットしておくことで、ビューアシスト画面との切り替えをスムーズに行う事ができます。

◀ ビューアシストの切り替えを⑨にアサインした例

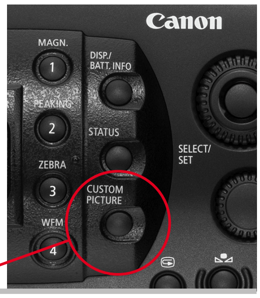
4：CUSTOM PICTURE (CP) での CANON LOG 設定

<[CUSTOM PICTURE (CP)] ボタンから設定する方法>

1



[CUSTOM PICTURE]
ボタンを押す。

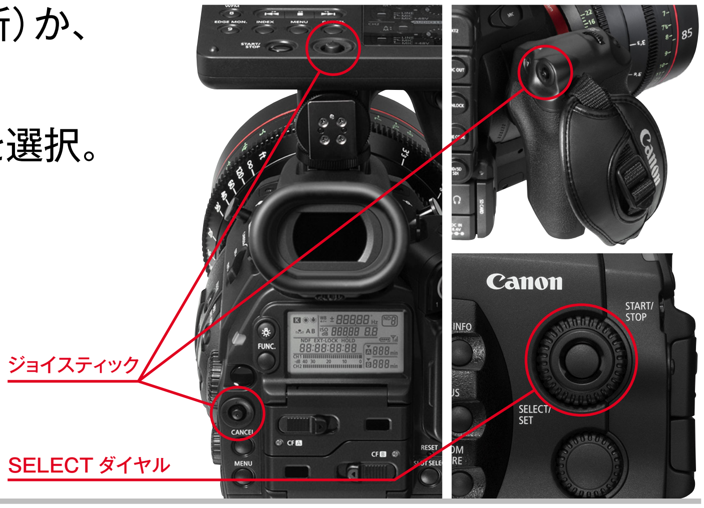


CUSTOM PICTURE ボタン

2

ジョイスティック（3カ所）か、
SELECT ダイヤルで、
[CP Select File] を選択。





3



さらに、**[C8：CINEMA]** を選択。

4



LCD モニターや VF 画面の左下中段に、
[CP 8] が表示されます。

この設定を使用する際の利点：**撮影現場で他のモード（NORMAL1 等）と CANON LOG 撮影を切り替えて撮影する際に、変更が簡単にできます。**

＜注意 1＞［MENU］ボタンから設定する方法のときとは表示が異なりますが、デフォルト状態では［CP CINEMA 固定］と同じ設定です。

＜ 注意 2＞ この設定の際には、[PROTECT] が掛かっていますので、CP の各パラメータは固定になります。**CP の変更が必要な場合には設定保護を解除して変更してください。**

5：CUSTOM PICTURE／GAMMA [Canon Log] 設定の注意点

＜ CAUTION 適正な LOG 収録を行うには、この設定での撮影方法はお奨めできません＞

■ CUSTOM PICTURE（CP）／ガンマ設定の [Canon Log] メニューについて

CUSTOM PICTURE 機能から EDIT FILE を選択すると、【Gamma】設定があり、その中にも［Canon Log］というガンマを選択できるようになっていますが、この場合、ガンマカーブ以外の色特性は、CP プリセットの［CINEMA］とは異なるため、P.4［CINEMA］プリセットを選択したものとは異なった画像出力になります。



CANON LOG で正しく撮影するためには、この【Gamma】設定の機能は使わずに、必ず P.2［CP CINEMA 固定］、もしくは P.4［CP Select File］から［C8：CINEMA］プリセットを選択して使用して下さい。

LOG 撮影 / 収録の画像調整のポイント

一般的に LOG 撮影 / 収録の場合、LOG 画像のコントラストの低い画の状態で は適正な画像状態が判別できないため、通常シャープネスやノイズリダクション（NR）といった画質調整は、カラーグレーディング後に行います。EOS C300 側でも［CANON LOG］として正しく処理できる CP 設定可能な項目（シャープネス、NR のみ）はありますが、なるべく撮影時はカメラ側での不必要な設定変更は避けて下さい。

備考：[CP CINEMA 固定]［CINEMA］プリセットでの［CANON LOG］モードと、ガンマカーブとしての［Canon Log］

EOS C300 には、ダイナミックレンジと画質設定の最適な組み合わせである［CANON LOG］と、Normal, EOS Standard, Cinema などの「ガンマ」の一つとしての［Canon Log Gamma］の 2 つがあります。
LOG 収録を目的とする［CANON LOG］を使用したい場合は CP 固定にて使用、ガンマを［Canon Log Gamma］にしたい場合のみ、ガンマ設定で［Canon Log］を使用する ことでベストな撮影が出来ます。（ただしカラーマトリックス等は自分で再設定）

P.2、4 の『CANON LOG』撮影の設定では、ガンマカーブとカラーマトリクスなどの複合設定が必要になるため、CP は固定もしくは保護された CP に格納されている状態です。P2、P4 の設定方法がこの使い方になりますが、この設定の場合に限って、LUT（Look Up Table）が正しく適用可能になります。

それに対して、CP のガンマから選ぶことの出来る［Canon Log］は【ガンマのみ】の設定になりますので、どうしても Look（画質設定）の一つとして［Canon Log］を使用したい場合に限り、この設定を使用可能ですが、カメラで画質を作り込む場合の選択肢の一つでしかありません。